第３３回　安佐南区回復期生活期連携推進の会 開催のご報告

令和元年９月２５日（水）19：00 より　安佐南区総合福祉センター６階大会議室

■ 今回のテーマ

入退院時の連携～無くそう！聞いとけばよかった、伝えとけばよかった～入院編

令和元年度主任介護支援専門員更新研修の受講要件を満たす法定外研修（入院時における多職種連携の視点や重要性①）として開催

◎講師：三原千春氏（ケアマネマイスター広島　あすか居宅介護支援事業所　主任介護支援専門員）

■ 内容

入院中、病院関係者、家族、ケアマネージャーが同じゴールを目指す事が出来るか。その為には、職種ごとの知りたい事・伝えたい事をどう共有すれば良いか。多職種連携の内容・中身について焦点をあてて考える。

今回はワールドカフェ方式で行う。「安佐地区入院時情報提供シート」の事例を使い考えていく。

- **１ラウンド　職種ごとのグループ**　自己紹介・知りたい情報、伝えたい事・利用者がイメージできるか、話し合い・自分の発言を模造紙に記入していく。
- **２ラウンド　多職種のグループ**　１名はホストとしてグループに残り他のメンバーがグループを移動。ホストは新たなグループのメンバーに１ラウンドで出た意見を説明。グループ内全員で共有し新たな意見や気付きを追加で模造紙に記入していく。
- **３ラウンド　もとの職種ごとのグループ**　ホストは２ラウンドで出た話を戻って来たグループメンバーに説明。２ラウンドでのそれぞれのグループで出た話し合いを共有。新たな意見や気付きを発言して自由に模造紙に記入していく。
- **模造紙をもとに全グループの発表**　それぞれのグループの気付きや意見を参加者全員で共有する。

■ 皆様にご協力いただいたアンケートより～　　たくさんのご意見ありがとうございました。

●それぞれの職種で欲しい情報が違う。その事を理解した上で連携を図っていく事が重要と感じた。●病院等に連携シートが周知されていないので連携になっていない。医療連携の見直しをしたほうが良い。●この書類で何を伝えるべきか、何を記入したら良いか各職種で違うが、ゴールを見据えて書くべきと感じた。●それぞれの職種での情報が異なる。点数ありきではあるが、顔を合わせた連携が大切だと感じました。●今まであまり確認しなかった情報提供シートの重要性を感じた。●ケアマネ側も病院側もお互いに意見を言い合えたことが良かった。●意見を出し合う事で結論に導かれた。●各職種で欲しい情報が違う、顔の見える、又は直接電話等の連携が必要。●他職種の生の意見が聞けた。　　・・・等、たくさんの意見が。

ご参加くださった方々の職種

主任介護支援専門員	２８名
介護支援専門員	９名
ＭＳＷ	５名
ＰＴ	１４名
ＯＴ	６名
ＳＴ	３名
管理栄養士	１名
社会福祉士	１名
支援相談員	１名

お問い合わせ：安佐南区回復期生活期連携推進の会　事務局：野村病院居宅介護支援事業所あさみなみ　梶本
電話：875-1585　FAX：875-1582　メール：caremane-park@medical-park.jp